

## ＜新型コロナ＞卒業式でマスク外し同級生の素顔初見…埼玉 443 人感染 4 人死亡 感染以外でマスク外せぬ理由は

3/15 埼玉新聞



埼玉県庁＝さいたま市浦和区高砂（埼玉新聞）

埼玉県は 15 日、新型コロナウイルスに感染した 4 人が死亡し、新たに 0～90 歳以上の 443 人の感染を確認したと発表した。感染者の内訳は県管轄が 316 人、さいたま市 61 人、川口市 27 人、川越市 23 人、越谷市 16 人。

これまでに確認された感染者は 179 万 2879 人。死者は 3926 人。14 日夜時点の重症者は 6 人、入院は 229 人、宿泊療養は 68 人。

県によると県管轄で 60～80 代の男女 4 人が死亡した。さいたま、川口、川越、越谷市での死亡はなかった。

クラスター（感染者集団）関連は 3 件で、新たに医療機関で 6 人が感染した。

### ■ 「初めて素顔見た」マスク着脱、県立高校で卒業式

埼玉県立高校各校で卒業式が実施され、卒業生の門出を祝った。式中のマスクの着脱については政府の方針に従い、県教育局が式全体を通して外すことを基本として各校に通知。さいたま市西区の大宮光陵高校では生徒の判断に任せられたが、多くの卒業生や在校生がマスクを着用したまま式に臨んだ。

同局高校教育指導課などによると、本年度の県立高校の卒業生は全日、定時、通信制合わせて 138 校で 3 万 4 258 人。公立小学校は 22、23 日、中学校は 15 日を中心に行われる予定。

大宮光陵高校は 9 日に卒業式を行い、卒業生 323 人と在校生、保護者らが出席した。式前は教員から在校生に「マスクを外しても構わないので、取れる人は取って卒業生を迎えましょう」とアナウンスがあったが、ほとんどの在校生はマスクを着けたまま。外して

いた生徒も、国歌や校歌を歌う際は着用。卒業証書授与、答辞、送辞などの代表生徒はマスクを外していた。

生徒会長の李月嬌（り・げつきょう）さん（18）は答辞で、「休校期間が明けた後も、マスクで隠れた素顔、中止になったイベント、短くなった夏休みなど、憧れていた学校生活とは違った」と振り返った。式後、マスクについて「初めて素顔を見た子もいた。私は率先してマスクを外したが、花粉症だから取らないという子も多かった。少し寂しかったが仕方ないと思う」と話した。

同校では本年度初めて一般公開の体育祭や文化祭を実施。小川慎校長は「生徒はずっとマスクを着けるように言われて過ごしてきた。外すと『素顔が恥ずかしい』ということも大きいようだ」と話した。